

一般社団法人
日本保健医療社会福祉学会
第31回大会プログラム

— 大会テーマ —

コロナ禍の地域とソーシャルワークを問う
～ 変わること、変わらないこと、変えてはならないこと ～

日 時 : 2021年9月26日(日)

9:00 ~ 16:00

開催方法 : ライブオンライン開催

大会日程

9月26日(日)

総合司会 内藤 雅子

9:00 開会挨拶

日本保健医療社会福祉学会 会長・大会長
椋野 美智子 松山大学 人文学部 教授

9:10～10:30 基調講演

地域とソーシャルワークを問う ～ 政策の観点から ～

椋野 美智子 松山大学 人文学部 教授

10:40～13:15 シンポジウム

コロナ禍の地域とソーシャルワークを問う
～ 変わること、変わらないこと、変えてはならないこと ～

座長 宮崎 清恵 (神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 教授)

シンポジスト(発言順)

白野 倫徳 (大阪市立総合医療センター 感染症内科 副部長)

丸山 秀幸 (馬場記念病院 医療福祉相談室 室長・ソーシャルワーカー/
ペガサスイキキネット相談支援センター CSW)

榊原 次郎 (医療法人樟立会たちかわ脳神経外科クリニック ソーシャルワーカー)

中 恵美 (金沢市地域包括支援センターとびうめ センター長・ソーシャルワーカー)

指定発言者 椋野 美智子 (松山大学 人文学部 教授)

14:05～15:55 自由研究発表

座長 保正 友子 (日本福祉大学 社会福祉学部 教授)

1. 援助経過の異なった社会的ハイリスク妊産婦に対する援助経過の考察
明神麻歩 (公立陶生病院)
2. コロナ禍で ESW に何が求められていたか
— 大阪医療センター救命センターのソーシャルワーク介入状況から —
畑中眞優子 (独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター)
太田 裕子 (独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター)
3. てんかんを持つ患者が抱く心理・社会的な課題についての先行研究レビュー
金沢衣里花 (日本女子大学人間社会研究科社会福祉学専攻・
順天堂大学医学部附属順天堂医院 医療サービス支援センター医療福祉相談室)
4. アルコール依存症当事者が経験する回復の実態と自助グループが果たす役割についての一考察
— 自己治療仮説の視点から —
菊地 桃 (武蔵野赤十字病院 医療連携センター)
5. 障害認定の有無がもたらす就労支援システム化の比較
— 小児がん経験者の支援プログラムの検討から —
山崎まどか (社会福祉法人文京区社会福祉協議会)

15:55～16:00 閉会挨拶